

### 6-1 スマートフォンを探す

セキュリティ対策としてできることのひとつが「探す」という機能です。iPhone の場合、標準搭載されている「iPhone を探す」から利用できるため Apple ID 作成後に使用できます。

iPhone を紛失した際に大音量のサウンドを発生させ場所を把握することや、iPhone にロックをかけ任意のメッセージを画面に表示させることができます。万が一の時に端末を探せる・データを守ることができるので常に「オン」にしておく方がいいです。端末を手放す際にはこの機能を「オフ」にしてから初期化をしないと「アクティベーションロック」がかかってしまいます。

Android 端末の場合、Web から「スマートフォンを探す」を検索すると Google 社提供のサービスが利用できます。利用する際にアカウント情報が必要となるため Google アカウント情報を入力することで同じアカウントを利用している端末の位置情報を確認することができます。

### 6-2 アクティベーションロック

アクティベーションロックとは強制的にスマートフォンを利用できない状態にすることで「iPhone を探す」には盗難予防機能として搭載されています。紛失した際など、他人が勝手に端末を使用できないようにするための機能になります。「iPhone を探す」をオンにした状態で初期化を行うとアクティベーションロックがかかり、解除するためには初期化前に使用していた Apple ID とパスワードが必要になります。紛失・盗難により第三者へ情報を与えない強力なセキュリティですが、中古端末を購入する際にこのロックがかかっているものを購入してしまうと端末を使用できないので要注意です。

### 6-3 パスコード設定

スマートフォンの電源投入時、スリープを解除する際に画面のパスコードロックをかけておくことで第三者に情報が漏れることを防ぎます。パスコードは一定数以上間違えると初期化をしないと端末が使用できない状態になるので盗難にあった時でもデータを守ることができるので安易に発想しやすいパスコードは避けましょう。

iPhone 5S 以降の端末の場合は Touch ID または Face ID の設定が可能です。指紋・顔を登録してスリープを解除できるようになるので便利ですが一定数認識できなかった場合は